



Wedding Story
for
YUGO & IZUMI

Wedding Planner / Flower Designer
KURUMI

Concept

最前線で活躍するヘアスタイリストのふたりへ贈る

たったひとつのウェディング。

ふたりの培った感性でゲストに過去最高のウェディングの時間を。

2's Sensitivity

ふたりのライフの中心はヘアスタイリスト。

そして、そこから生まれたご縁でふたりのこれまでは豊かな人生になってきました。

ふたりの出会い、お仕事仲間との関係、支えて味方でいてくれる家族やご友人。

私が思う「美容室」、それは自分自身を新しく出来る場所。

美しさ、楽しさ、憂鬱、決意、そんなものを持って来店するお客様を外面から繊細にケアして、

そしてココロを支え、励まし、力をくれる、そんなとっておきの場所。

そんな素晴らしい仕事をしているふたりだからこそ、

ウェディングでもゲストのココロに新しいときめきを感じさせるウェディングをつくりだしていく。

そんな想いを込めたコンセプトです。

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 1 「心が高まる瞬間を」

ふたりが恋心を抱いた日が蘇る。

運命の日は、そんな瞬間から始まります。

お互いに、この素晴らしい一日を迎えるための晴れ姿。

そんなお互いの姿に、初めて挨拶する。

少し恥ずかしくて、でも心が高まる瞬間。

【Place 邸宅A】



親族全員では無くても、新郎
新婦と同じ花を例えば親御様
だけ、お子さまだけ身に付け
るだけでも素敵です♪



Scene 2

「“Family Flower”を家族全員が身に付けて迎える日」

結婚は2つの家族が繋がること。

その縁を象徴する“Family Flower”を決めて

親御さまもご兄弟も甥っ子、姪っ子さんも

そのお花を身に付ける。

普段お会いすることが少ないご家族同士、

同じ空間にいて、同じものを身に付けるだけで

一体感を感じていただける、そんな演出です。

Wedding Story For Yugo & Izumi



ペールダウンは、花嫁の仕上げです。お母様に子育てのしめくくりをしていただき、送り出していただきます。

これまでの数十年間を丁寧に思い返して、心から溢れ出る、様々な感情と共に行われる感動のセレモニーです。

幻想的なバージンロードを喜びと寂しさを感じながら、一步一步噛みしめ歩きます。

その先に勇吾さんが待っています。



Scene 3「“家族”が始まる場所」

歴史ある式場〇〇。

そこにひっそりと佇むチャペル。

お父様が緊張する姿を微笑んで眺めるいずみさん。

ご家族や大切な参列者の方々に見守られて入場します。

お母様にも、ペールダウンをしていただき、

母と娘の短くとも深い瞬間を感じましょう。



Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 4 「言葉に出して誓う大切さ」

ふたりが未来を言葉にして誓い合う。
ひとりとひとりが共に歩む誓いをカタチにすることが結婚式。
言葉を噛みしめ、ひとつひとつの儀式を深く感じる
一生に一度の時間を。

Scene 5 「祝福される喜び」

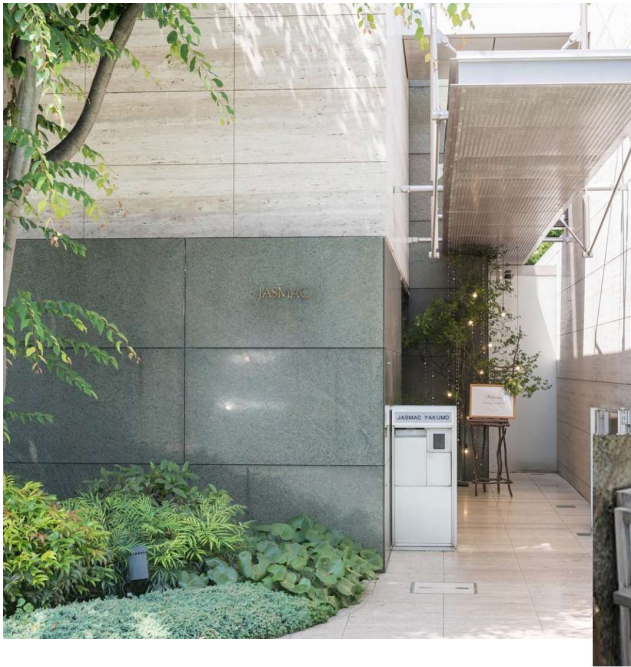
ふたりが結ばれたのは
今まで支えてくれたみんながいたから。
そんな方々に囲まれる喜びを
めいっぱい感じられる挙式の後の時間。



Wedding Story For Yugo & Izumi

Scene 6 「ゲストとつくれるウェディングステージ」

挙式の後、ふたりがゲストを招くための邸宅へ。
ふたりのホームも近い場所にひっそりと佇む一軒家。
一般的な結婚式場とは一線を画すその邸宅に、
ゲストは「どんな披露宴が行われるのだろう」と
期待せずにはられません。



表札もオリジナルにチェンジして、
ゲストにプチサプライズを。



Scene 7 「1st Create」

エントランスはゲストを迎えるファーストインプレッションの場所。
ふたりのセンスに、おもてなしの気持ちを込めてつくって。

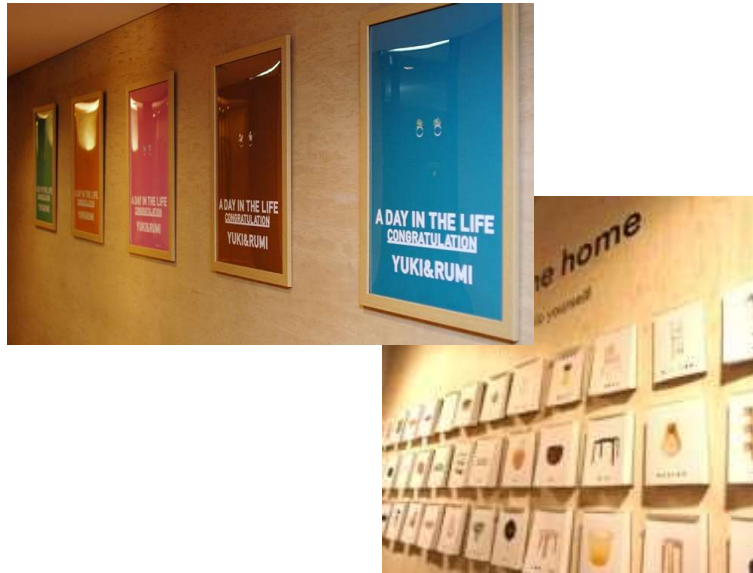
スタンダードなウェルカムボードとは違ったカタチで
表現することも、ふたりらしさを感じていただくポイントに。



スタイリッシュでインパクトのあるウェルカムスペース。ゲストが主役と言う意味を込めてゲスト全員の名前をプリントしたウェルカムアイテムはいかがでしょうか。



Wedding Story For Yuma & Ayako



Scene 8 History

邸宅内に入ると、総大理石のアートなスペースが
ゲストを包み込みます。

ウェディングスペースに向かうまで道は
ふたりとゲストのヒストリーを感じるギャラリーです。

パーティーが始まるまでの布石はとても大切。
ふたりとの思い出をゲストに振り返ってもらうことで、
節目の日をより深く嬉しく楽しく感じてもらえます。

額で飾ったり、プレートで飾ったり、
ふたりのエッセンスを加えながら、まるでギャラリーのように。



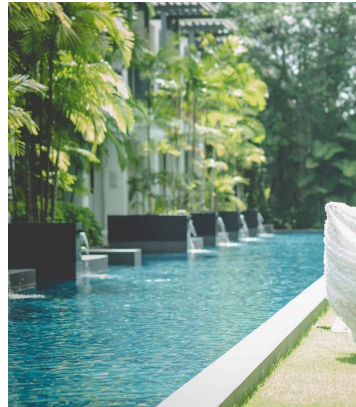
Scene 9 Unreal World

ゲストが地下へ続く階段を降りると
そこには、また別のアート空間。

自然と写真スポットになるようなシンプルでカッコいい空間。

ゲストはふたりが好きな音楽とともに
ウェルカムドリンクを楽しみます。
それは現実を忘れるような世界に。

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 1 0 Count Down

いよいよパーティーが始まります。

ゲストは自然光が降り注ぐ会場へ・・・と思ったら

そのまま2Fへ上がる階段に案内されます。

登っていくと、そこにはプール付きのテラス。

そして、ふたりの感性を元にデザインされた装飾がゲストにサプライズを。

Scene 1 1 For two From Guest

「この日があるのはゲスト全員のおかげ」という意味を込めて

ゲストからいただく花でできたブーケを持ってパーティーが始まります。

- I. 新郎新婦が入場してくる前に、ゲスト全員に花々が配られます。
- II. 新郎新婦が一緒に入場してきて、ゲストからふたりともお花を受け取りながら進みます。その時にひとりひとりお声をかけ合いながらこの時の幸せを感じていただきます。
- III. ふたりが集めたお花をひとつにして、リボンを結び完成します。

こうしてつくられた花は、1本1本想いの込められた特別なブーケになります。

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 1 2 Cheers!!

ブーケを完成させたら、そのままテラスで乾杯！
少しの間、ゲストとの時間をテラスで楽しめます！



Scene 1 3 Our Party Book

ゲストが手元に持って、パーティーをより楽しませる
“パーティブック”
単なる席次表だけでなく、
この日ヘアメイクを担当してくれた方のご紹介や
友人クリエイターなどのご紹介、作品紹介のような
フリーペーパー風なブックにしてみても？

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 1 4 Slowly Wedding

その後は1Fで、優雅に食事を楽しみながら、
ゲストとの時間を楽しみます。

料理にも出身地の食材を使用したり
友人がオススメするお酒など、
ふたりがセレクトする理由のあるものを+アルファすることで
ゲストへのおもてなしが伝わります。



Scene 1 5 Love Music

楽しい時間に素敵な音楽は欠かせないもの。
いずみさんのご友人に、
パーティータイムの音楽をプロデュースしてもらって、
オリジナルの空間を演出してもらいましょう。

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 16 Sweet Time

日が落ち、ムーディーな雰囲気が出てきたとき、
ゲストテーブルにはキャンドルが配られます。

そして、誰でも楽しみにしている甘い時間。
それは雰囲気がまた変わった2Fに用意してあります。

プール上にもキャンドルが灯り、
その前にはデザートbuffetが並べられています。
ゲストはふたりのおもてなしに感動します。

そしてふたりとゲストはおひらきまで、この場でゆったりと楽しめます。



Scene 17 End roll

挙式映像のムービーをラストに流したり、
ふたりからの感謝をお伝えするムービーをご用意して
ラストを飾ってみて。

Wedding Story For Yugo & Izumi



Scene 1 8 Thanks to Mother & Father

あまり目立ちたくないとおっしゃってたいずみさん。
でも親御様と離れて暮らしているとなかなか伝えられないことがあります。
だからお手紙で、素直な気持ちをお伝えしてください。

そして勇吾さんも、お母様へのお手紙をぜひ書いて読んであげてください。
結婚式の日しか、こんな機会は絶対にありません。

Thank you

ふたりのお気に入りの場所を元にウェディングを想い描かせていただきました。
まだまだ大枠に過ぎませんし、これからふたりのご意見をたくさん伺って
ブラッシュアップをさせていただきます。

ふたりの人となりやアイデンティティーを大切に、ココロのこもったウェディングをつくっていきます。